

内令第五十八號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第五十九號

横須賀鎮守府豫備驅逐艦

驅逐艦 沖 風

佐世保鎮守府豫備驅逐艦

驅逐艦 峯 風

右警備驅逐艦ト定メラル

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

内令第六十號

昭和十六年内令第三百九十六號中左ノ通改正ス

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

内令

一一五

0133

内令

二二六

人員ヲ左ノ如ク改ム

飛行科特務士官、准士官 附 三人

整備科特務士官、准士官 附 一人

飛行兵曹、飛行兵 十五人 (掌飛行兵 (操九六)

整備兵曹、整備兵 四十八人 (掌整備兵 (高一九五)

主計兵曹、主計兵 二人

参照 前記内令ハ第四艦隊司令部ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令第千六十一號

當分ノ間左ノ通各人員ヲ臨時増減ス

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

上海海軍特別陸戰隊司令部

増員

0134

<p>内令第千六十二號</p> <p>當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p> <p>昭和十六年九月十五日</p> <p>第二十四航空戰隊司令部</p>	<p>上海方面根據地隊司令部</p> <p>増員</p> <p>少將、大佐 參謀長 兼務一人</p> <p>大佐 參謀長 一人</p> <p>減員</p> <p>大佐 參謀長 一人</p>
---	--

内令

一二七

海軍大臣 及 川古志郎

0135

内令

二二八

兵 曹 長 附 一人(氣象)(吳鎮守府在籍者)

内令第六十三號

昭和十六年内令第三百十二號中「百十九人」ヲ「百四十人」ニ、「十三人」ヲ「十五人」ニ改ム

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

参照 前記内令ハ海軍機雷學校ノ人員臨時増減ノ件ナリ

内令第六十四號

昭和十七年内令第三四三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第八百四十六號ハ之ヲ廢止ス

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦 神威

兵 曹、水 兵

三十七人

(掌筒機兵)高
(普) 掌筒機兵
(特修兵適宜)時號)一
(普六)

0136

看 護 兵 一 人
主 計 兵 一 人

參照 廢止内令ハ第二十四航空隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千六十五號

昭和十六年内令第六百七十一號中「昭和十六年九月三十日迄」ヲ「昭和十七年三月三十一日迄」ニ
改ム

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

參照 前記内令ハ千歳海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

一一二九

0137

内令第千六十六號 (所要ノ向ヘ配付)

内令第千六十七號

左ノ内令中第十二航空隊及第十四航空隊ノモノハ昭和十六年九月十五日限り其ノ他ノモノハ昭和十六年九月三十日限り之ヲ廢止ス

秋

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及川古志郎

昭和十三年内令第六百十五號

昭和十四年内令第七百四十六號 (第十四航空隊ニ人員臨時増置ノ件)

昭和十五年内令第四百六十八號

同 年内令第八百六十七號 (鹿屋海軍航空隊等ノ人員臨時増減ノ件)

同 年内令第八百六十八號 (第十二航空隊等ノ人員臨時増減ノ件)

同 年内令第八百七十號

同 年内令第八百七十一號

同 年内令第八百八十八號 (吳海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件)

内令

一一三三

0138



内令

一三四

昭和十六年内令第十六號 (第十二航空隊ニ人員臨時増置ノ件)

同 年内令第八十八號 (軍艦蒼龍等ニ人員臨時増置ノ件)

同 年内令第四百九十五號 (霞ヶ浦海軍航空隊等ノ人員臨時増減ノ件)

同 年内令第六百三十七號 (第十二航空隊等ニ人員臨時増置ノ件)

同 年内令第六百六十九號 (横須賀海軍航空隊等ノ人員臨時増減ノ件)

同 年内令第六百七十六號 (佐伯海軍航空隊ノ人員臨時増減ノ件)

同 年内令第七百五十七號 (特設航空機運搬艦富士丸ニ人員臨時増置ノ件)

内令第六十八號 昭和十七年内令第五七五號ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第六百三十三號ハ之ヲ廢止ス



昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

館山海軍航空隊

少佐 大尉

飛行隊長 兼 分隊長

一人

0139

兵科	尉官	隊附	二人
機關少佐、機關大尉	分隊長		一人
機關科	尉官	隊附	一人
飛行科特務士官、准士官	隊附		三人
整備科特務士官、准士官	隊附		四人
飛行兵曹、飛行兵			六十七人 (掌飛行兵 三三二)
整備兵曹、整備兵			二百八十八人 (掌整備兵 高六四一)
看護兵曹、看護兵			三人
主計兵曹、主計兵			十人

參照 廢止内令ハ、備山海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

一三五

0140

内令第千六十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年九月十五日

海軍大臣 及 川古志郎

第六根據地隊司令部

兵 費、水 兵

六十四人 (特修兵適宜)

内 令

一三三七

0141



内令第七十號 昭和十七年内令第四五六號
ヲ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年九月十七日

海軍大臣 及 川古志郎

第二潜水戰隊司令部 (潜水艦ノ發射關係業務ニ充ツベキモノ)

特務中少尉、兵曹長 附 一人 (舞鶴鎮守府)

兵 曹、水 兵 二十八人 (掌水雷兵 二二) (舞鶴鎮守府在籍者)

内令第七十一號

左ノ内令ハ昭和十六年九月三十日限リ之ヲ廢止ス



昭和十六年九月十七日

海軍大臣 及 川古志郎

昭和十年内令第三百七十七號 (廣海軍工廠ニ人員臨時増置ノ件)

昭和十一年内令第三百三十八號 (大湊要港部ニ人員臨時増置ノ件)

昭和十三年内令第一百十一號 (海軍航空本部ニ人員臨時増置ノ件)

内令

一一三九

(内令第六十九號ハ後送ス)

0142

内令

二四〇

昭和十四年内令第八十三號（佐世保海軍工廠ニ人員臨時増置ノ件）

同 年内令第八百六十四號（横須賀鎮守府等ニ人員臨時増置ノ件）

昭和十五年内令第四百四十九號（海軍航空技術廠ニ人員臨時増置ノ件）

同 年内令第二百六十七號（舞鶴海軍工廠等ノ人員臨時増減ノ件）

内令第七十二號

昭和十六年内令第五百七十七號中「技師 附 六人（部外者）」ヲ「技師 附 十人（部外者）」ニ、

「技手 附 二十二人（部外者）」ヲ「技手 附 二十五人（部外者）」ニ改ム

本令ハ昭和十六年九月十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年九月十七日

海軍大臣 及川 古志 郎

参照 前記内令ハ支那事變中海南警備府ニ人員臨時増置ノ件ナリ

○正誤



昭和十六年内令第七百九十一號中

「聯合艦隊司令部 特務中少尉 一人」ハ衍

0143

内令第七十三號

艦砲及陸上砲臺射撃消耗彈藥別紙ノ通供給ス

別紙ハ海軍省教育局長ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十六年九月十八日

海軍大臣 及 川古志郎

内令第七十四號

昭和十六年内令第六百七十四號中左ノ通改正ス

昭和十六年九月十八日

海軍大臣 及 川古志郎

末尾ニ左ノ如ク加フ

主計兵曹 二人(掌理兵)

参照 前記内令ハ第四海軍建築部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

二四一

0144

内令

一四二

内令第七十五號

昭和十六年内令第三百九十號中「二十人」ヲ「二十二人」ニ、「六百九十二人」ヲ「七百五十二人」ニ、「百八十人」ヲ「二百十人」ニ、下士官、兵内譯ノ項佐世保鎮守府在籍者ノ欄中「四百四十九人」ヲ「五百九人」ニ、「百三十六人」ヲ「百六十六人」ニ改ム

昭和十六年九月十八日

海軍大臣 及川古志郎

参照 前記内令ハ海軍警備府ニ人員臨時増置ノ件ナリ

0145

内令第千七十六號

昭和十六年内令第千六號中左ノ通改正ス

昭和十六年九月十八日

海軍大臣 及 川古志郎

人員ヲ左ノ如ク改ム

兵科特務士官、准士官 附 三人(舞鶴鎮守府在籍者)

兵 曹、水 兵 三十七人(掌帆兵三、其ノ他特修兵適宜三) (内舞鶴鎮守府在籍者一五)

機關兵曹、機關兵 十六人(掌機兵二、普内火三)

主 計 兵 一人

参照 前記内令ハ第四港務部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

一四三

0146

内令第七十七號

支那事變中左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十六年九月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年九月十八日

海軍大臣 及 川 古 志 郎

支那方面艦隊司令部(航空關係業務ニ充ツベキモノ)

- 中 佐 附 二人
- 少 佐、大 尉 附 二人
- 兵 科 尉 官 附 五人
- 機關少佐、機關大尉 附 一人
- 軍 醫 科 尉 官 附 一人
- 主 計 科 尉 官 附 一人
- 兵科特務士官、准士官 附 一人
- 飛行科特務士官、准士官 附 十三人
- 整備科特務士官、准士官 附 七人

内 令

二四五

0147



内令

一一四六

兵 曹、水 兵 三十二人 (掌信號兵 二、掌電信兵 (高 五))

飛行兵曹、飛行兵 三十二人 (掌飛行兵 (偵 探 一八))

整備兵曹、整備兵 二百五人 (掌整備兵 (高 二、三) 射爆 四、五) 掌航空兵器兵 (高 一、普 九)

機關兵曹、機關兵 十四人 (掌機兵 四、掌電機兵 二)

看護兵曹、看護兵 四人

主計兵曹、主計兵 十四人 (掌經理兵 三、掌衣糧兵 二)

内令第七十八號

昭和十六年九月十八日
ニテ本機廢止

支那事變中左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十六年九月十八日

海 軍 大 臣 及 川 古 志 郎

南遣艦隊司令部 (航空關係業務ニ充ツベキモノ)

少 佐、大 尉 附 一人

兵 科 尉 官 附 二人

0148

機關少佐、機關大尉	附	一人
飛行科特務士官、准士官	附	七人
整備科特務士官、准士官	附	二人
兵曹、水兵		十八人 (掌信號兵 高三、四) (掌電信兵 高三、四)
飛行兵曹、飛行兵		十八人 (掌飛行兵 偵一、四)
整備兵曹、整備兵		六十人 (掌整備兵 高一、五、八) (掌航空兵器兵 射一、五、八) (寫真 高一、六、普二)
機關兵曹、機關兵		八人 (掌機兵 二)
看護兵曹、看護兵		二人
主計兵曹、主計兵		六人 (掌經理兵 一) (掌衣糧兵 一)

内令第七十九號

支那事變中左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

一一四七

0149

内令

昭和十六年九月十八日

海軍大臣 及 川古志郎

第十一航空艦隊司令部

整備科特務士官、准士官

附

一人

整備兵 曹、整備兵

十人(掌航空兵器兵 寫真(普四))

二四八

0150

内令
要登載

内令第八十號

潜水艦基地隊ノ所屬、名稱及所在地ノ件申左ノ通改正セラル

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

横須賀鎮守府ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

吳鎮守府	吳潜水艦基地隊	吳
佐世保鎮守府	佐世保潜水艦基地隊	佐世保

附則

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(昭和十六年内令第二百三十一號參照)

内令第八十一號

海軍定員申左ノ通改正セラル

内令

一一四九

内令(自第八十七號
至第九十九號ハ後送ス)

0151

内令

一五〇

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

潜水艦基地隊定員表ヲ別表ノ如ク改ム

附則

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表一葉添)

(昭和十六年内令第二百三十二號参照)

内令
提要

内令第八十二號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

特修兵配置表其ノ三中潜水艦基地隊ノ項ヲ左ノ如ク改ム

0152

内令
登載

隊地	艦基	水潛
佐世保	吳	横須賀
三	三	三
三	三	三
八	八	八
八	八	八
一	一	一
一	一	一
三	三	三
三	三	三
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
〇	〇	〇
七	七	七
六	七	七
-/-	-/-	-/-
-/-	-/-	-/-
〇/-	〇/-	〇/-
〇/-	〇/-	〇/-
〇	〇	〇
〇	〇	〇
-/-	-/-	-/-
三	三	三

同表備考第五號ヲ左ノ如ク改ム

五 本表ノ外各潜水艦基地隊ニハ掌機雷兵(高水測)、(普水測)、特修兵適宜(暗號員)一及掌衣糧兵、高一

ヲ配置ス

附 則

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、四二七頁参照)

内令第八十三號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

内 令

一一五

0153

内令
要
登
録

内令

敷設艦定員表其ノ四ヲ別表ノ如ク改ム

(内令提要卷一、三四六頁参照)

(別表一葉添)

一一五二

内令第八十四號

特修兵教員配置規則申左ノ通改正ス

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

特修兵配置表其ノ十一敷設艦ノ部申沖島、津輕ノ項ヲ左ノ如ク改ム

津	沖
輕	島
〇九	〇五
二四	二二
三六	三三
〇〇	〇〇
八三	四三
三三	二二
二四	三二
三一	三〇
四六	四六
四四	〇〇
〇〇	〇三
三三	三五
五〇	四〇
四六	六三
三八	三八
四八	二八
二二	二二
〇〇	〇〇
〇〇	〇〇
〇〇	〇〇
〇〇	〇〇
三三	三三
一一	一一
一一	一一

(内令提要卷一、四四一頁参照)

0154

内令
登載

内令第八十五號
海軍定員令申左ノ通改正セラル

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

海軍病院定員表其ノ一中消毒部長軍醫大佐ノ下横須賀ノ欄ニ「兼務」ヲ加ヘ計士官ノ下
〔五十七人
内兼務
十四人〕

ヲ「五十八人
内兼務
十五人」ニ改ム

海軍病院定員表其ノ三ヲ別表ノ如ク改ム

海軍病院定員表其ノ五ヲ別表ノ如ク定ム

附則

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表二葉添)

(内令提要卷一、三三三頁参照)

内令第八十六號

昭和十五年内令第七百五十九號申左ノ通改正シ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

内令

二五三

0157

内令
要
登
載

内令

一五四

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

特設航空隊定員表其ノ一及其ノ二ヲ各別表ノ如ク改ム

特設航空隊定員表其ノ三ヲ削リ「特設航空隊定員表 其ノ四」ヲ「特設航空隊定員表 其ノ三」ニ改メ同表中「別表第四」ヲ「別表第三」ニ改ム

特設航空隊特修兵配置表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表三葉添)

参照 前記内令ハ特設航空隊定員表及同特修兵配置表ヲ定ムルノ件ナリ、昭和十六年内令第三百七十六號

内令第八十七號

特設通信隊及同分遣隊所在地、種別等ノ件中左ノ通改正セラル

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

佐世保鎮守府ノ項中

0158

内令

(昭和十六年内令第六號參照)

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

羅津通信隊		朝鮮咸鏡北道豐海面		甲、丙、戊		永興分遣隊	會文分遣隊	明湖洞分遣隊	鎮西分遣隊	第二分遣隊	第一分遣隊	サイゴン	サイゴン	丁	乙
大島通信隊		鹿兒島縣大島郡實久村		甲、丙、戊		永興分遣隊	會文分遣隊	明湖洞分遣隊	鎮西分遣隊	第二分遣隊	第一分遣隊	サイゴン	サイゴン	丁	乙
第八十一通信隊		サイゴン		甲、丙、戊		永興分遣隊	會文分遣隊	明湖洞分遣隊	鎮西分遣隊	第二分遣隊	第一分遣隊	サイゴン	サイゴン	丁	乙
第八十一通信隊		サイゴン		甲、丙、戊		永興分遣隊	會文分遣隊	明湖洞分遣隊	鎮西分遣隊	第二分遣隊	第一分遣隊	サイゴン	サイゴン	丁	乙

ニ改ム

ヲ

内令提
要登載

内令

内令第千八百八十八號

海軍通信隊ノ所屬、名稱、所在地及種別ノ件中左ノ通改正セラレ

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

大湊海軍通信隊ノ項中

根
室
丁

ヲ

根	幌	松
室	鏡	輪
丁	丁	丁

ニ改ム

鎮海海軍通信隊ノ項中

會	永
文	興
丁	丁

ヲ削ル

附則

本令ハ昭和十六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、二七頁参照)

一五六

0160

海軍病院定員表 共ノ三

(昭和十六年内令第千八十五號)

計		附		部員		副官		藥劑部長		第一部長		第二部長		長	
特務士官	士官	看護特務中少尉		藥劑少佐、藥劑大尉	軍醫大尉	軍醫中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	藥劑中少佐	軍醫中佐	軍醫大佐	軍醫大佐	軍醫大佐	軍醫少將、軍醫大佐		
二人	十六人 <small>内兼務一人</small>	三		兼務一	三	五	二	一	一	一	一	一	一	一	湊
二人	十六人 <small>内兼務一人</small>	三		兼務一	三	五	二	一	一	一	一	一	一	一	別府
二人	十五人 <small>内兼務一人</small>	二		兼務一	三	四	二	一	一	一	一	一	一	一	嬉野
	五人 <small>内兼務一人</small>			兼務一									兼務一	一	山中
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	看護兵	書記	主計兵曹	看護兵曹	主計兵曹長	看護兵曹長					
五百四十八人	一人	三十三人	三人	二	五十二	一	四	十九	一	二	湊				
五十五人	一人	三十五人	三人	二	五十三	一	五	二十	一	二	別府				
五十八人	一人	三十四人	三人	二	四十八	一	四	二十	一	二	嬉野				
十二人	一人	六人	一人	一	十一	一	一	五		一	山中				

第二十三表ノ五

海軍病院定員表 其ノ五

(昭和十六年内令第八十五號)

計		附		部員		兼副部員		藥劑部長		第一部長		第二部長		長	
特務士官	士官	看護特務中少尉		軍醫科尉官	軍醫中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	藥劑中少佐	軍醫大中佐	軍醫大佐	軍醫少將、軍醫大佐					
一人	九人	一	三	一	一	一	一	一	一	一					
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	看護兵	警記	主計兵曹	看護兵曹	主計兵曹長						
二十六人	一人	八人	一人	二	二十四	一	一	七	一	霞ヶ浦					

0162

別表第二

特設航空隊定員表 其ノ二

(昭和十六年内令第八十六號)

計		隊										司令		第十六	第十七	第十八					
特務士官	士官	附					隊					飛行長	中少佐								
十一人	十五人	主計特務中少尉	工作特務中少尉	機關特務中少尉	整備特務中少尉	飛行科特務士官	特務中少尉	兼分隊長	主計少佐、主計大尉	隊附	軍醫少佐、軍醫大尉	兼分隊長	軍醫少佐、軍醫大尉	隊附	機關科尉官	飛行長	中少佐				
九人	十四人	—	—	—	二	三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
七人	十三人	—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
兵	下士官	准士官	主計兵	看護兵	工作兵	機關兵	整備兵	水兵	主計兵	看護兵	工作兵	機關兵	整備兵	飛行兵	兵曹	飛行兵曹長	整備兵曹長	機關兵曹長	看護兵曹長	主計兵曹長	
二百四十八人	九十六人	十四人	十二	四	十三	三十二	百五	三十八	六	二	十二	八	二十四	十九	二十五	—	—	—	—	—	—
百九十三人	八十九人	十二人	十一	四	十三	三十二	九十五	三十八	六	二	十二	八	二十一	十五	二十五	—	—	—	—	—	—
百四十八人	七十五人	十一人	九	三	十三	三十二	五十三	三十八	五	二	十二	八	十三	十	二十五	—	—	—	—	—	—

特設航空隊					
第十九	第十八	第十七	第十六	第十三	第一
一/二	一/二	一/二	一/二	一/三	二/三
二/三	一/二	一/二	一/二	二/三	二/三
二/三	一/二	一/二	一/二	三/四	三/四
四/七	三/六	三/六	三/六	四/七	四/七
四/六	三/四	三/四	三/四	三/四	六/六
〇/五	三/七	六/九	七/三	五/六	五/五
二/三	一/二	一/二	二/三	三/四	六/六
〇	〇	〇	〇	〇	五/六
一/一	〇/一	一/一	一/一	二/四	一/三
〇	〇	〇	〇	一	二
七/四	九/八	四/三	六/三	七/八	八/五
一/二	一/二	一/二	一/二	一/三	一/四
二/三	一/三	一/三	一/三	二/三	二/四
〇/二	〇/二	〇/二	〇/二	一/二	一/二
二/四	二/四	二/四	二/四	二/四	二/五
一/二	一/二	一/二	一/二	二/四	三/四
二/二	二/二	二/二	二/二	二/四	三/五
二/二	二/二	二/二	二/二	三/五	三/五
二/二	二/二	二/二	二/二	三/五	三/五
一/一	一/一	一/一	一/一	二/三	二/三
一/一	一/一	一/一	一/一	一/二	一/二
二/四	二/四	二/四	二/四	三/九	三/九
二/四	二/三	二/四	二/四	三/七	四/八
二/四	二/三	二/三	二/四	二/七	三/八
四	四	四	四	四	四
(高/普)兵砲掌					
(高/普)兵的測掌					
(高/普)兵帆掌					
(高/普)兵號信掌					
(高/普)兵信電掌					
(操/偵)兵行飛掌					
爆射					掌航空兵器兵 (高/普)
爆雷					
真寫					掌工兵 (特高/普)
學光					
(高/普)兵備整掌					
機					掌機兵 (高/普)
火內					
罐					(高/普)兵機電掌
(高/普)兵機電掌					
冶鍛					掌工兵 (特高/普)
械機					
上仕					
金板					
接熔					
造鑄					
具木					
(高/普)兵理經掌					
(高/普)兵糧衣掌					
(號暗)科宜適兵修特					

別表第四

特設航空隊特修兵配置表

(昭和十六年内令第千八百八十六號)

内令第千八十九號

昭和十二年内令第百八十二號ハ之ヲ廢止ス

(附)

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

參照 前記内令ハ軍艦沖島ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令第千九十號

昭和十六年内令第四百三十一號中左ノ通改正ス

昭和十六年九月十九日

海軍大臣 及 川古志郎

第五根據地隊司令部ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第四根據地隊司令部

兵科特務士官、准士官

附

一人

兵 曹、水 兵

六人(掌電信兵)

内令

一一五七

0166

令内

一一五八

機關兵曹、機關兵 四人

看護兵曹、看護兵 一人

整備 兵 三人

主計 兵 一人

第五根據地隊司令部

機關科特務士官、准士官 附 一人

兵曹、水兵 八人(掌電信兵)

整備兵曹、整備兵 十人(掌整備兵 二)

機關兵曹、機關兵 十二人(掌機兵 內火 三)

主計 兵 二人

参照 前記内令ハ第三根據地隊司令部等ニ人員臨時増設ノ件ナリ

0167

内令提
要登載

内令第九十一號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十六年九月二十日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦、巡洋艦二等「利根型」ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

阿賀野型 阿賀野

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令第九十二號

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

昭和十六年九月二十日

海軍大臣 及 川古志郎

軍艦 阿賀野

内令

二五九

0168

内令提
要登載

内令

内令第九十三號

右特設巡洋艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラル

汽船能代丸

汽船報國丸

汽船西貢丸

汽船盤谷丸

右特設巡洋艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

汽船浮島丸

右特設巡洋艦トシ佐世保鎮守府所管ト定メラル

汽船天洋丸

右特設敷設艦トシ吳鎮守府所管ト定メラル

汽船相良丸

右特設水上機母艦トシ横須賀鎮守府所管ト定メラル

汽船京城丸

一一六〇

0169

内令

右特設捕獲網艇トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 檜丸

右特設捕獲網艇トシ吳鎮守府所管ト定ム

汽船 星光丸

右特設捕獲網艇トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

汽船 高千穂丸

汽船 民星丸

右特設敷設艇トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 第六昭南丸

汽船 第八京丸

汽船 第二關丸

汽船 陽光丸

右特設驅潛艇トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 烏來丸

一一六二

0171

右特設驅潛艇トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

右特設驅潛艇トシ舞鶴鎮守府所管ト定ム

右特設掃海艇トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

内令

汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船
女島丸	第三鮮友丸	第二高島丸	第十一鶚丸	第八利丸	第五利丸	第三關丸	第二昭南丸	龍井丸	南岬丸	第十六長運丸	佐防
320kg	320kg		110kg		150kg		540kg	佐防	馬防	佐防	

一一六三

0172

内令

一一六四

右特設掃海艇トシ吳鎮守府所管ト定ム

汽船朝日丸
汽船眉山丸
汽船第五徳豊丸

3300g

汽船關丸

汽船第七利丸

4200g

汽船太東丸

汽船太西丸

4800g

汽船第十六昭南丸

汽船第一拓南丸

5000g

右特設掃海艇トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

漁船八絃丸

漁船白鷗丸

漁船第一龜寶丸

0173

内令

漁船勝榮丸	漁船第五清壽丸	漁船第二海鳳丸	漁船太平丸	漁船第一見寶丸	漁船海幸丸	漁船鷹壽丸	漁船太平丸	漁船第五愛鷹丸	漁船第五福吉丸	漁船第二春日丸	漁船壽滿丸	漁船甚生丸	漁船水天丸
-------	---------	---------	-------	---------	-------	-------	-------	---------	---------	---------	-------	-------	-------

一一六五

0174

内令

一一六六

右特設監視艇トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

漁船 第一福久丸	漁船 第五惠比壽丸	漁船 鳥海丸	漁船 第十一號琵琶丸	漁船 榮福丸	漁船 精良丸	漁船 雄島丸	漁船 繁進丸	漁船 長渡丸	漁船 第二幸昌丸	漁船 第八號住吉丸	漁船 第五笹山丸	漁船 第八日之出丸
----------	-----------	--------	------------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	-----------	----------	-----------

0175

右特設監視艇トシ吳鎮守府所管ト定ム

内令

漁船 第二旭丸	漁船 第三南薩丸	漁船 第八振興丸	漁船 第二海洋丸	漁船 太洋丸	漁船 第五盛秋丸	漁船 第八號正榮丸	漁船 新洋丸	漁船 海王丸	漁船 第貳共和丸	漁船 第三福吉丸	漁船 第五春成丸	漁船 第二漁勝丸
"	9.3	9.1	2.11	2.11	8.28	9.12	15.12.22	8.29	8.30	3	8.29	9.2

一二六七

0176

漁船北洋丸	漁船第七朝洋丸	漁船第六朝洋丸	漁船大紀丸	漁船大斗丸	漁船第五千秋丸	漁船第五開洋丸	漁船第一龍重丸	漁船第一大神丸	漁船第貳新蛭子丸	漁船第五日吉丸	漁船第廿七長榮丸	漁船第三千代丸	漁船第二千代丸
8.8	8.12	8.31	8.20	8.21	8.11	8.4	8.21	8.20	8.2	9.3	8.21		

0177

右特設監視艇トシ佐世保鎮守府所管ト定ム
 右特設監視艇トシ舞鶴鎮守府所管ト定ム

内令

二六九

- 漁船 第二北洋丸 94
- 漁船 第一紀寶丸 95
- 漁船 第六開洋丸 98
- 漁船 第二拓洋丸 99
- 漁船 第三清津丸 99
- 漁船 第十八南進丸 96
- 漁船 第二南進丸 99
- 漁船 第三南進丸 99
- 漁船 第二南進丸 99
- 漁船 第一須山丸 96
- 漁船 第二須山丸 96
- 漁船 祇園丸 91

0178

右特設運送船（給兵船） トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

汽船 西阿丸 8/9
汽船 辰神丸 1.14

右特設運送船（給兵船） トシ舞鶴鎮守府所管ト定ム

汽船 立山丸 8.5

右特設運送船（給水船） トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 興亞丸 9.3

右特設運送船（給糧船） トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 厚生丸 9.1
汽船 駿河丸 8.1
汽船 第三播州丸 8.1

右特設運送船（給糧船） トシ吳鎮守府所管ト定ム

汽船 仙臺丸 8.17
汽船 北上丸 8.4

0179

右特設運送船（給糧船）トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

汽船 石狩丸
汽船 かもゐ丸 9.3

右特設運送船（給炭船）トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 新夕張丸 7.23
汽船 とかち丸 9.12

右特設運送船（給炭船）トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

汽船 東邦丸 8.20

右特設運送船（給油船）トシ横須賀鎮守府所管ト定ム

汽船 さんくれめんで丸 9.11

汽船 東亞丸 9.11

汽船 第二共榮丸 8.28

汽船 日本丸 9.9

汽船 第二菱丸 9.10

内令

二七一

0180

右特設運送船（雜用船）トシ吳鎮守府所管ト定ム

汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船
長	松	明	昌	興	内	霧	山	畿	津
丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸	丸
8.11	8.21	9.12	9.12	9.15	9.15	9.15	9.15	9.15	9.15

右特設運送船（雜用船）トシ佐世保鎮守府所管ト定ム

汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船	汽船
球	千	彰	中	第	山	霧	内	畿	津
摩	光	化	和	三	霧	霧	内	畿	津
川	丸	丸	丸	御	霧	霧	内	畿	津
丸	丸	丸	丸	影	丸	丸	丸	丸	丸
8.26	8.21	8.1	9.5	9.3	9.15	9.15	9.15	9.15	9.15

内令

一一七三

0182

内令

二七四

右特設運送船(雑用船)トシ舞鶴鎮守府所管ト定ム

汽船 明石丸 2/15

昭和十六年九月二十日

海軍大臣 及川古志郎

内令第九千九十四號

右機雷敷設ニ従事スル特設巡洋艦ニ指定ス

特設巡洋艦 西貢丸

同 盤谷丸

特設砲艦 新興丸

同 光島丸

同 豊津丸

同 吉田丸

同 河北丸

右機雷敷設ニ従事スル特設砲艦ニ指定ス

0183

内令
要
登
載

右碎氷ニ従事スル特設砲艦ニ指定ス

昭和十六年九月二十日

特設砲艦 千歳丸

海軍大臣 及 川古志郎

内令第九十五號

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

第十九號驅潜艇

吳鎮守府在籍

第十九號驅潜艇

右警備驅潜艇ト定メラル

昭和十六年九月二十日

海軍大臣 及 川古志郎

内令

一一七五

0184